

令和5年度 全国学力・学習状況調査
春日部市全体の調査結果概要（目的・概要等）

■調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

■調査の概要

実施日 令和5年4月18日（火）

調査対象 1 原則として全児童生徒を対象とする。

【小学校調査】 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9学年

2 小・中・義務教育学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

- (1) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
- (2) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

調査事項 1 児童生徒に対する調査

- (1) 教科に関する調査
 - ①小学校〈国語、算数〉
 - ②中学校〈国語、数学、英語〉
- (2) 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙による調査

2 学校に対する質問紙調査

■春日部市の学力調査結果の概要（教科区分ごとの平均正答率）（単位％）

	学年		国語	算数・数学	英語
R5	小6	市	69	61	/
		県	68	62	
		国	67.2	62.5	
	中3	市	71	48	40
		県	71	52	46
		国	69.8	51.0	45.6
R4	小6	市	67	63	※令和4年度は、理科を実施
		県	67	64	
		国	65.6	63.2	
	中3	市	68	48	
		県	70	52	
		国	69.0	51.4	

■教科に関する調査結果（小学校）

小学校 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全 体		69
学習指導 要領の 領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	73.8
	情報の扱い方に関する事項	61.9
	話すこと・聞くこと	75.1
	書くこと	25.2
	読むこと	72.3

送り仮名を選択する問題や2つの資料に書かれていることを選択する問題は、高い正答率でした。また、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることもできていました。

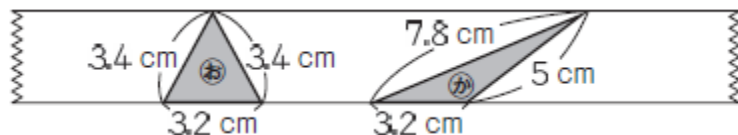
【平均正答率が最も低かった問題】

- ・ 図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して、条件に合うように解決方法を書く問題。（60字以上100字以内）

小学校 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全 体		61
学習指導 要領の 領域等	数と計算	65.5
	図形	47.4
	変化と関係	69.5
	データの活用	65.3

基礎的な計算力は身につけています。「変化と関係」の中で変化の特徴や比例ではない理由を説明する問題は高い正答率でした。図形の定義や割合が表す大きさの理解に課題が見られました。

【平均正答率が最も低かった問題】



上記三角形の面積の大小関係について選びその理由を書く問題

【2教科に共通する事項】

- ・ 記述式になると、正答率が著しく下がる。（無解答率も上がる）

問題形式	正答率 (%)	
	国語	算数
選択式	74.7	58.1
記述式	52.0	44.3

- ・ 5年生までに、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた児童ほど、正答率が高い。

■教科に関する調査結果（中学校）

中学校 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		71
学習指導 要領の 領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	69.2
	情報の扱い方に関する事項	63.8
	我が国の言語文化に関する事項	75.8
	話すこと・聞くこと	83.7
	書くこと	63.9
	読むこと	64.0

「話すこと・聞くこと」や言語文化については、概ね高い正答率でした。叙述に即して読んだり要旨を把握したりすることも高い正答率でした。資料と資料の関係性を理解することに課題が見られました。

【平均正答率が低かった問題】

- ①「おし量る」 ____部を漢字に直す問題
- ②現代語の「竹取物語」の古典文のものと比較して、どこがどのように工夫されているか考えを書く問題

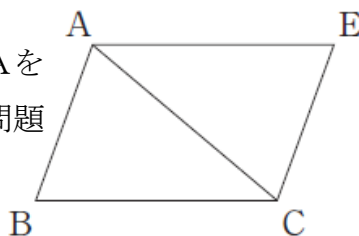
中学校 数学		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		48
学習指導 要領の 領域等	数と計算	58.7
	図形	31.1
	関数	48.9
	データの活用	47.7

基本的な計算については、概ね高い正答率でした。関数において、グラフから必要な情報を適切に読み取ることもできていました。しかし、図形については、問題形式にかかわらず、正答率が35%以下であった。定義はもちろん、活用についても課題が見られました。

【平均正答率が低かった問題】

①証明

右図において、 $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ を利用して、 $BC \parallel AE$ を証明する問題



- ② 空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

中学校 英語		平均正答率 (%)
		春日部市
全 体		40
学習指導	聞くこと	55.4
要領の	読むこと	44.7
領域等	書くこと	17.5

場面や状況について、情報を正確に聞き取ることは、概ね高い正答率でした。日常的に英語を使う機会が十分にある生徒ほど正答率が高い傾向にありました。

【平均正答率が低かった問題】

- ①学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書く問題
- ②You have to come to speech contest. 左の文を依頼する表現に修正をする

【無解答率が最も高かった問題】

- ・英語の長文中の質問に対して、自分の考えと理由を英語で記述する問題

【英語における問題形式別正答・無解答率】

問題形式	正答率 (%)	無解答率 (%)
選択式	50.0	0.4
短答式	22.6	14.9
記述式	9.7	26.9

【3教科に共通する事項（クロス集計から）】

- ・1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した生徒ほど正答率が高い。
- ・該当教科が「好き」、「授業がよく分かる」という生徒ほど正答率が高い。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると回答した生徒ほど正答率が高い。

【小中学校に共通する事項（クロス集計から）】

- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますかという設問に対し、「1時間以下」と回答した児童生徒ほど正答率が高い。